

## 西オーストラリアで世界最大の恐竜の足跡化石の発見

オーストラリアのダンピア半島は、ジュラシック・パークと呼ばれている。この地域で、恐竜の足跡化石の調査をしているクイーンズランド大学のスティーブ・ソールズベリー教授らの研究チームは、長さ 1.7m もある世界最大の恐竜の足跡化石を発見した[1]。

化石が含まれる地層は、1 億 4000 万年前の白亜紀前期のブルーム砂岩層と呼ばれる地層である。

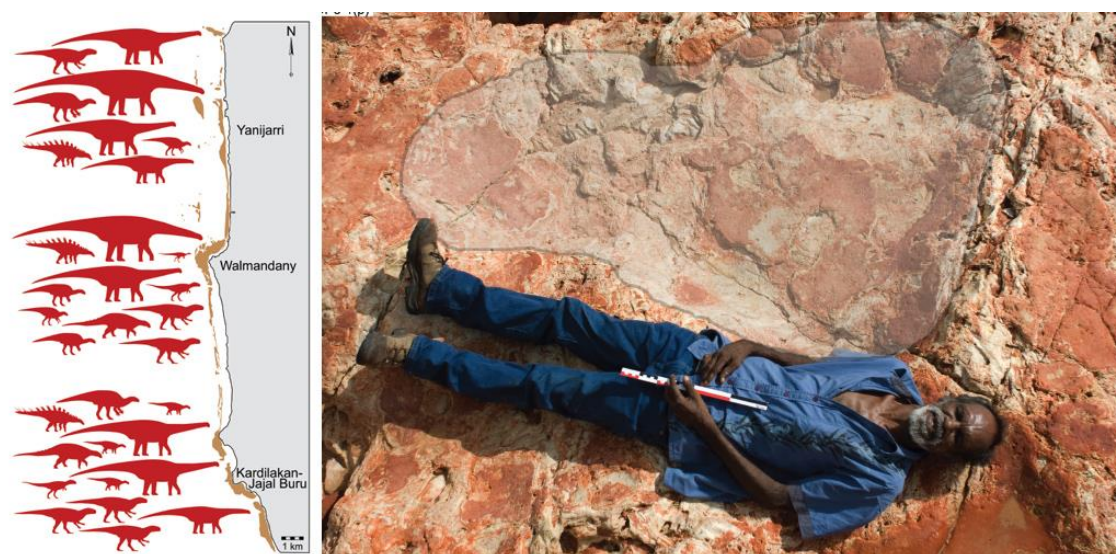


図 1. 海岸で発見された足跡化石から同定された恐竜の種類（左）と、最大の恐竜足跡化石（右）。Salisbury et al. (2017).

彼らはこの地域で何千もの恐竜の足跡化石を発見しており、それらが少なくとも 21 種類の恐竜によるものであることが明らかにされている。ソールズベリー教授らによると、それらは肉食恐竜 5 種、首長竜に属するもの 6 種、2 足歩行の草食恐竜（鳥脚類）4 種、および鎧竜のなかま 6 種に分類されるという。ソールズベリー教授らは、こうした研究の成果をセキツイ古生物学雑誌（*J. Vertebrate Paleontology*）に発表した。

調査地域は、液化天然ガスの処理工場の建設予定地であったが、大量の恐竜の足跡化石が発見されたため、自然遺産として保護されることになった。ソールズベリー教授らの論文では、先住民が早くから恐竜の足跡化石の存在を伝承してきたことにも触れている。

[1] Salisbury, S. W. et al. (2017) The Dinosaurian Ichnofauna of the Lower Cretaceous (Valanginian-Barremian) Broome Sandstone of the Walmadany Area (James Price Point), Dampier Peninsula, Western Australia. *J. Vertebrate Paleontology*, 36, sup1, 1-152.

